

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2018-2423(P2018-2423A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2016-133437(P2016-133437)

【国際特許分類】

B 6 5 H 3/48 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 3/48 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月12日(2019.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シート束を積載するシート積載部と、

前記シート束の最上位シートを搬送する搬送手段と、

前記シート束にエアを吹き付けるエア吹付手段とを備え、

前記シート積載部のシート搬送方向長さを拡張して、長尺シートを搭載可能にする拡張力ートリッジが取り付け可能なシート給送装置において、

前記エア吹付手段は、少なくともシート搬送方向下流側からシート積載部に積載されたシート束の上位シートにエアを吹き付けるものであって、

シート搬送方向長さが互いに異なる少なくとも2種類シート束について、シート搬送方向長さが長い方のシート束に対するエアの風力エネルギーを、シート搬送方向長さが短い方のシート束に対するエアの風力エネルギーよりも大きくするよう、エア吹付手段を制御する制御手段を備えたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項2】

請求項1に記載のシート給送装置において、

前記制御手段は、長尺シートからなる長尺シート束に対するエアの風力エネルギーを、通常のシート束に対するエアの風力エネルギーよりも大きくすることを特徴とするシート給送装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載のシート給送装置において、

前記制御手段は、エア吹き付け時間を調整して、前記風力エネルギーを調整することを特徴とするシート給送装置。

【請求項4】

請求項3に記載のシート給送装置において、

前記制御手段は、前記搬送手段の最上位シートを搬送するタイミングを調整することで、エア吹き付け時間を調整することを特徴とするシート給送装置。

【請求項5】

請求項3に記載のシート給送装置において、

前記エア吹付手段は、シート搬送方向下流側から前記シート束へのエア吹き付けを遮断するエア遮断手段を備え、

前記制御手段は、前記エア遮断手段によりエア吹き付けを遮断するタイミングを制御することで、エア吹き付け時間を調整することを特徴とするシート給送装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 いずれかに記載のシート給送装置において、前記制御手段は、エアの風速を調整して、前記風力エネルギーを調整することを特徴とするシート給送装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 いずれかに記載のシート給送装置において、前記制御手段は、前記シート積載部に搭載されるシートの幅、紙種および紙厚の少なくともひとつに基づいて、エアの風力エネルギーを調整することを特徴とするシート給送装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のシート給送装置において、前記制御手段は、前記シート積載部に搭載されるシートの幅に基づいて、エアの風力エネルギーを調整するものであって、前記制御手段は、シート幅が互いに異なる少なくとも 2 種類シート束について、シート幅が広い方のシート束に対するエアの風力エネルギーを、シート幅が狭い方のシート束に対するエアの風力エネルギーよりも小さくすることを特徴とするシート給送装置。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 に記載のシート給送装置において、前記制御手段は、前記シート積載部に搭載されるシートの紙種に基づいて、エアの風力エネルギーを調整するものであって、前記制御手段は、シート間密着力が互いに異なる少なくとも 2 種類シート束について、シート間密着力が強い方のシート束に対するエアの風力エネルギーを、シート間密着力が弱い方のシート束に対するエアの風力エネルギーよりも大きくすることを特徴とするシート給送装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 いずれかに記載のシート給送装置において、前記エアの風力エネルギーを、ユーザーにより設定可能としたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 いずれかに記載のシート給送装置において、前記シート積載部に搭載されるシートの長さ、シートの幅、紙種および紙厚の少なくともひとつに基づいて、エアの風力エネルギーを調整する制御を行うか否かを、ユーザーにより設定可能としたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 いずれかに記載のシート給送装置において、前記搬送手段は、前記エア吹付手段によって浮上した浮上シートの最上位シートを吸着し、該吸着したシートを搬送するものであり、前記エア吹付手段は、シート搬送方向下流側からシート束の上位シートにエアを吹き付け前記上位シートを浮上させるための浮上用エア噴出口と、シート搬送方向下流側から最上位シートと 2 番目のシートとの間にエアを吹き付け、最上位シートと 2 番目のシートを分離させるための分離用エア噴出口と、シート幅方向からシート束の上位シートにエアを吹き付け前記上位シートを浮上させるためのサイドエア噴出口とを備えたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項 13】

シートに画像を形成する画像形成手段と、画像形成手段へ向けてシートを給送する給送手段とを備えた画像形成装置において、前記給送手段として、請求項 1 乃至 12 いずれかに記載のシート給送装置を用いたことを特徴とする画像形成装置。